

### 3 4 (テーマ設定部門) テーマ: 『“住民の底力”による地域の防犯力の再生』

事業名 「みんなで築こう安全安心なまち・乃木」(安全で安心なまちづくり推進事業)

実施主体 ほっと乃木まちづくり推進協議会

県担当課 警察本部生活安全企画課

#### 事業の成果

##### 事業の目的 [地域安全]

- 地域の防犯活動の連携を強化し、住民の防犯意識を高めるために、連合組織「ほっと乃木まちづくり推進協議会」を立ち上げ、各関係団体の連絡体制の整備・強化を図る。
- 地域住民によるシンポジウムを開催し、安全で安心なまちづくりに対する住民の意識を高める。

##### 事業の内容

- 「ほっと乃木まちづくり推進協議会」を立ち上げ、パトロール活動等の連携を強化した。
- 地域安全推進員会を中心とした地下道の美化(落書き防止)活動として、児童・生徒とともに地下歩道「田和山ふれあいロード」の壁画を制作した。
- 住民の安全安心防犯活動に対する意識を高める活動として、ほっと乃木シンポジウムを開催した。



##### 目的の達成状況 [概ね達成できた]

- 単独の活動広報誌を発行する予定だったが、出来なかった。

##### 反省点・改善点

- ほっと乃木まちづくり推進協議会の体制が十分整っていない中での協働事業であったため、十分検討した事業とはならなかった。
- 40 団体にも及ぶ連合体であり、これ自体の連携を図ることの難しさがあったので、この点をどうするのか今後の課題として残った。

協働の効果

**県との協働内容** [ 協働して実施した ]

- 県警の担当者の方との連携で、防犯関係団体の組織化や、パトロール等についての知識・方法のアドバイスを受けた。

**県との協働効果** [ 十分効果があった ]

- 協働したことで、住民の理解が得られた。
- ほっと乃木まちづくり推進協議会は立ち上げたばかりで、構成団体の連携面で非常に弱いものがあったが、協働により住民の意識の高揚を図ることが出来、各団体間の連携を密にすることが出来た。

**県への要望事項** [ 特にない ]

**反省点・改善点**

- 40団体にも及ぶ連合体であり、全ての構成団体の歩調を揃えることは難しいと思われる。
- 事業内容(項目)によって、担当団体を決めて取り組む必要がある。

**市町村との協働** [ 協働して実施した ]

- 松江市教育委員会にシンポジウムへの参加要請をした。

事業の継続

**事業成果の活用** [ 活用されている ]

- 活動をする中で、市警(生活安全課)を通じて、青色回転灯装着によるパトロールを強化することになった。
- 又、「地域安全安心ステーション」モデル事業の指定(県警)を受け、より活発な活動になりつつある。

**事業の継続状況** [ 助成を受けて継続実施している ]

- 平成17年度に続き、地元法人より18,19年度は助成してもらえる。
- 構成団体すべてから資金を拠出してもらうことは難しい組織体(連合体)なので、乏しい財源の中で活動の共同化を図る。
- ハード面よりソフト面(情報の共有化:活動の効率化)を中心にして活動する。

**協働による発展** [ 協働により発展できる ]

- 現在は防犯を中心に取り組んでいくことで、2年目に入ろうとしている。
- 最終的に、防災面に目を向け、取り組んでいくことになる。個人情報ネックとなる。  
乃木地区の課題と関連して力点が変わっていく。

